

		学校教育計画				
教育方針		校訓「愛・敬・誠」を実践し、知・徳・体のバランスのとれた全人教育を行う。 「世のため人のために生きる」「最善を尽くす」「清く正しく生きる」心の育成。				
前年度の成果と課題		本年度の重点目標		本年度の具体的目標		全体評価
・オンラインによる学習の機会が多くあり、ICT機器を使った効果的な授業展開ができるようになった ・コロナ禍で学校行事に制限があったが、最大限の感染対策を講じた活動が行えた。 ・部活動では練習に制限があった中、県、四国、全国で好成績を挙げることができた。		1. 本校生としての誇りを持ち、自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。 2. 学ぶ目標を持ち、その実現に努める生徒を育成する。 3. 社会に貢献できる生徒を育成する。		①気持ちの良い挨拶ができる生徒を育てる。 ②善悪の判断が正しくできる生徒を育てる。 ③規則がきちんと守れる生徒を育てる。 ④今もっている力を伸ばす。(鍛錬) ⑤新しいものに目を向けさせる。(挑戦) ⑥保護者との連携を密接にする。		
評価項目	本年度の主な活動目標	本年度の主な具体的方策		評価	次年度の改善策	
教科 指導	国語	国語を適切に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす	毎朝の読書の時間の充実と校内漢字テストの充実		A	朝の読書をもっと充実させることで、読解力、理解力を養成する
	地歴公民	基礎的な知識をベースに現実の社会問題を解決できる力を養う	たくさんの情報の中から正しく有用な情報を選ぶ方法を体得する		B	新課程に対応するため更なる研鑽を積む
	数学	数学的活動を通して、事象を数理的に考察し表現する力を養う	日常生活に存在する事象を数学を使って解決する力をグループワークで身につける		B	グループワークの時間を増やす
	理科	主体的・対話的で深い学びができる生徒の育成	基礎的なことをICT等を活用して学習することで、練習問題や発表の時間を確保する		B	基礎的な内容に徹し、学習習慣を身につけさせる
	保健体育	コロナ禍によりできなかった声出しを行えるようにし、協調性を持たせる	スポーツを通じて協力し合える姿勢を養わせる		B	感染症に対する意識が低下しているので今一度考えさせる
	芸術	芸術についての表現力を養い、感性豊かな人間性の育成を目指す	個人・グループによる「表現」に重点を置き、芸術文化に興味を持てるようにする		B	表現力を養うためのグループ活動を増やす
	英語	4技能を通じてコミュニケーション活動を特に大切にする	目的や場面に応じた技能と表現、そして主体性も合わせて評価する		B	ALTを中心に4技能を伸ばす指導をおこない、授業の質を高める
	家庭	家庭や地域生活に関わる実践的な知識と技術を習得させる	学習内容を吟味し、実生活に役立つ知識を教授していく		B	授業内容を見直し、より良い授業計画を確立させる
	情報	ICT機器を積極的に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う	達成可能な課題に取り組みさせることによって生徒に自信をつけさせる		A	科・コースに合わせて指導を工夫することで更なる充実を図る
	商業	商業の分野から現代社会を考え、社会で活躍するための基礎を身につける	身近に関わる法や商業的な知識を養っていく		B	現代社会の問題とリンクさせ学びを深める
	看護	ヒューマンケアの基本的な能力を養う	看護を通して倫理的思考の実践とコミュニケーション能力を身につける		B	生徒の現状を的確に把握し、考えさせる指導を強化する
	福祉	福祉の意義を理解し、実践しようとする心と行動力を育てる	興味関心を高めさせ、実践することで自尊心を育てる		B	身近な福祉に焦点をあてる
	未来クエスト	外部との連携を充実させ、生徒に様々な体験をさせる	3専攻の特色を活かして、外部団体とのコラボ授業を実施する		A	それぞれの専攻で資格取得のための指導をおこなう
教務	教える側と教わる側、双方の環境を整える	慣習的に行っていたことを、時代に即しているか見直す		A	現職教育を充実させ、教師の人間力を高める	
総務	誠之会(PTA)活動の活性化と充実を図る	誠之会行事への保護者の参加を促す		B	誠之会行事の広報を、頻繁に行う	
総務(管理)	学校生活における安全管理・環境美化に努める	避難訓練および全校清掃の重要性を認識させ、責任感を持ち取り組む		B	生徒だけではなく、職員の危機管理意識の向上に努める	
生徒指導	生徒個人に寄り添い、より良い自己実現のサポートを行う	生徒個人の理解のため対話を重視する		B	より一層個人を大切にすると対応に意識を傾注していく	
進路指導(進学)	進路講演会や大学訪問など、外部の方と触れ合うことで進路実現を目指す	将来について考察し、複数の学校を比較することで自分に合った進路先を見つける		A	大学訪問の機会を増やしていく	
進路指導(就職)	各々の希望に即した就職をさせる	生徒、担任と就職課との連携を密にする		B	学校推薦による就職のメリットを生徒にしっかり理解させる	
教育研究	総合探究の活動を中心に、生徒が自発的に課題を設定して取り組む力を養う	外部講師を招いて様々な探究の形を知る機会を設ける		A	生徒からも好評であるため、外部の方と触れ合う機会をより増やす	
人権・同和教育	日々お互いの人権意識を高める	「人権・同和教育＝人の幸せ」を基点とする		B	今まで以上に相手を思い行動できる生徒を育成する	
保健体育	感染症の予防を引き続き徹底する	TPOに応じた感染症対策		A	感染症対策の大切さを周知し、全校生徒に意識づけをさせる	
教育相談	充実した高校生活を送れるようサポートする	しっかりと傾聴することで、生徒の思いに寄り添う教員を目指す		B	より良いサポートを実施するため、情報共有を密におこなう	
特別活動	高校生活を通して、よりよい人間関係を形成できる生徒を育てる	学校行事の中で、よりよい人間関係を築けるよう啓発する		B	活動計画を見直し、生徒と職員の情報共有を密にする	
厚生	寮内の感染症対策を徹底させる	感染症予防対策マニュアルの遵守		B	感染症拡大防止のために、うがい手洗いを励行させる	
1年団	「幸せな人生」を送るための1年	「ありがとう」を1日5回伝える		A	生徒がもっと主体的に活躍できる仕組みを作る	
2年団	組織から必要とされる人間になる	後輩の手本となる		B	誰も取り残されることのない指導を徹底する	
3年団	全員が希望進路に進めるよう取り組ませる	基本的な生活習慣を見なおす		B	希望の進路実現のために積極的に生徒と関わる	
衛生看護科	自己の課題に気づき、解決に向け考え行動できる生徒を育てる	香川県准看護師試験全員合格		A	目標は達成できたが、新たに見えた課題を真摯に受け止める	
特進・進学コース	大学訪問やオープンキャンパスに参加することで、進学に対する意識を高める	定期試験だけでなく、校外模試や各種検定取得で結果を出し、自信につなげる		B	新課程における受験指導の方法を研究していく	
アスリートコース	文武両道	健康管理を行い、何事にも全力で取り組む		A	健康管理についてもう一度しっかり考えさせる	
アビリティコース	生徒一人ひとりと向き合い、個別指導を充実させる	こまめな声掛けを行い、生徒と向き合う機会を作る		B	一人ひとりに毎日一言は声掛けするように努める	